「行政」「人」「地域の魅力・価値」を「プラス」でつなぐ情報誌

Noto PLUS

広報のとNo.235
2024.10.1

町で生まれ育った誇りを胸に未来へ

誓いの言葉を述べる四方悠雅さん（左）と橋本楓香さん
（8/11 令和６年二十歳の集い）

広報のと　第235号
令和6年10月1日発行

■発行：能登町　■編集：総務課 CATV・放送室
〒927-0492
石川県鳳珠郡能登町字宇出津ト字50番地1

☎：0768-62-1000㈹
能登町 URL：https://www.town.noto.lg.jp
E-メール：info@town.noto.lg.jp

～今年度からコロナウイルス感染症予防接種はインフルエンザ予防接種と同じ定期接種になりました。～

インフルエンザ・新型コロナウイルス予防接種について（お知らせ）

今年度から新型コロナウイルス感染症予防接種は、インフルエンザ感染症予防接種と同様、秋冬時期に１回、定期予防接種として実施します。接種開始時期は 10 月 15 日㈫からとなりますが、医療機関によって接種期間が異なりますのでご注意ください。

また、新型コロナウイルス感染症予防接種の予診票兼接種券は個別通知ではなく、インフルエンザ予防接種と同様、全戸配布された予診票をご利用ください。詳細については 10 月の全戸配布チラシをご覧ください。

【助成対象】

① 65 歳以上の人（接種時）
② 60 ～ 64 歳で心臓・腎臓・呼吸器の機能障害により、日常生活が著しく制限される人
（かかりつけ医にご相談ください）
③ 1 歳～高校 3 年生の年齢（H18.4.2 以降生まれ）のお子さん
新型コロナウイルス感染症予防接種は助成の対象外となります。
④生活保護世帯の方
新型コロナウイルス感染症予防接種は①または②に該当する方のみ対象となります。

【自己負担】

インフルエンザ感染症予防接種　　1 回あたり 1,200 円
新型コロナウイルス感染症予防接種　1 回あたり 2,000 円（1 回のみの助成となります。）

【予診票兼接種券交付】

助成対象①、②に該当する方は、全戸配布された予診票をご利用ください。
不足する場合は、役場窓口（健康福祉課、各総合支所、各支所）もしくは指定医療機関で交付を受けてください。

続☆星のささやき

宇宙の人気者 まんてん仮面

問 星の観察館「満天星」☎ 76-0101

「土星がみごろ」

この秋は土星が見頃です。10 月の午後９時頃には南の空で輝いています。

土星は天体観望会でも人気ナンバーワンの惑星です。土星の魅力といえばリングですね。このリングは氷の粒々でできています。リングがどのようにできたのかは分かっていません。土星の周りの氷の衛星に隕石がぶつかり、弾き飛ばされた氷の破片が集まってリングになったなど様々な説があります。

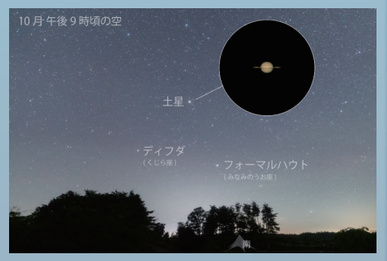
地球から見たリングの傾きは約 30 年の周期で変わっていきます。今年と来年はリングを真横から見る形になるため、お団子に串を刺したように見えます。この２年間はリングっぽく見えませんが、15 年に１度の珍しい見え方ですよ。満天星の天体観望会では、小型望遠鏡で可愛らしい小さな土星を見ることができます。

秋になって夜は過ごしやすい涼しさになってきます。夕涼みをしながら土星や秋の星空を眺めてみましょう。

イベント情報

「天体観望会」

日時：開催日時は満天星のホームページをご覧ください。
場所：星の観察館「満天星」
参加費：大人 330 円、小中学生 220 円、幼児無料
前日までにご予約ください (TEL 0768-76-0101)、雨天曇天中止



「オーロラメッセンジャー中垣哲也　オーロラ上映＆トークライブ」

プラネタリウムいっぱいに広がるオーロラの映像とアラスカの自然のお話をお楽しみください。
日時：10 月 20 日㊐
一回目 13:00 ～ 14:00　二回目 15:00 ～ 16:00
場所：星の観察館「満天星」参加費：大人550円、小中学生330円、幼児無料
予約：必要（TEL 0768-76-0101）

VEGETABLE OIL INK

この印刷物は、E3PAのゴールドプラス基準に適合した地球環境にやさしい印刷方法で作成されています。
E3PA：環境保護印刷推進協議会
PIN No.P13－0179
環境保護印刷：クリオネマーク認証

令和六年度 能登町 子ども議会

8月27日、議場で能登町子ども議会が開催され、議長の澁田美佳さん＝柳田中＝の議事進行のもと、町内4中学校から10人の子ども議員が登壇しました。震災に関する町への要望や、町の取り組みへの疑問、町の未来のための提案等を述べました。

一番 堂上 拓道
能都中3年

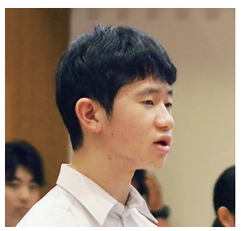
【質問】地震で漁港に大きな被害があった。競りの時間が遅くなると魚の価値が下がってしまう。漁港の修復の時期はいつか。
飲食店や料理人と協力し、能登町産の魚料理を発信できないか。
【町長】被害のあった防波堤や物揚場は、国の災害復旧事業を活用して令和8年度の完成を目指して取り組む。
町のふるさと納税の返戻品では、海産物の人気が高く、全国から支持されている。東京都内にほぼすべての食材に能登産のものを使っている飲食店があり、取り組みがますます広がるよう関係期間と連携し発信していく。

二番 鎌原姫乃曖
小木中3年

【質問】登下校時の道路街灯が少なく暗い。地震で壊れた道を確認できず危険。低コストで導入できる「ペットボタル」を地域の人たちで設置してはどうか。安全への意識も高まる。
【町長】「ペットボタル」は足元を照らすのには有用だが、耐久性や明るさが不足することから町が街灯として設置する計画はない。町内会での防犯灯やカメラの設置に対して、「能登町地域コミュニティ活性化事業補助金」で支援している。ペットボタルは防犯灯に準じるものとして導入できるため危機管理室に相談してほしい。
※ペットボタル…太陽電池で充電し、暗くなると自動で点灯する器具

三番 新谷誠太郎
松波中3年

【質問】ボランティアに対して、生徒会でお礼の気持ちを伝えたい。ボランティアセンターでメッセージカードを配布できないか。
ボランティアや工事業者の宿泊場所がない。将来的に貸別荘等に使える仮設宿泊施設の導入は。
【町長】町ボランティアセンターでは個人・団体合わせて1万人以上が参加いただいている。お礼の気持ちを伝えることについては、行動いただければすぐに対処する。
「ふるさと回帰型」仮設住宅は、被災者の住まいであり、ボランティアや工事従事者向けには使えない。工事従事者には、公共施設を貸し出している。



四番 脇田 恭冴
柳田中3年

【質問】町の人口は1万5千人を切った。生まれ育った能登町が多くの人に愛されるよう、SNS等を活用して魅力発信を。ホームページは文字が多く見にくい。インタビュー動画や視覚に訴えることで多くの人が魅力を知り、住み続ける人の増加にもつながる。
【町長】町公式LINEの登録者が増えている。さらに親しみやすい情報発信に努める。町では定住者増に加え、移住でも観光でもない、地域の人と多様に関わる人々「関係人口」を増やす取り組みを行っている。
SNS発信は町からだけではなく、ハッシュタグを作り発信するなど、子ども議会の皆さんも協力を。

五番 久田 唯心
能都中3年

【質問】海洋ごみ問題は海洋生物だけではなく、私たちの生活にも影響がある。町から町民にボランティアの呼びかけをして意識づけをしてはどうか。小中学校の海洋教育の時間で清掃することもできる。地震で汚れた海を清掃することで、人々の気持ちも回復に向かうのでは。
【町長】能登町は海と密接に関係し、共存してきた。里海を守るため、町内で自主的に海岸清掃を行っているところもある。町でも毎年6月末に「クリーンビーチいしかわinのとちょう」を町内3か所で行い、参加を呼び掛けている。町民の自主性が重要。自らが率先して海洋ごみの撤去に協力を。

六番 下出 陸斗
小木中3年

【質問】町の人口が減少している。転出者の抑制に重点を置くべき。私たちの小木中学校は今年度をもって閉校になるが、カフェやレストラン、宿泊施設などとして活用できないか。徳島県三好市に事例がある。また、他の閉校後校舎についてはどのように考えているか。
【町長】小木地区は海洋資源や伝統文化、美しい景観に恵まれている。その中心にある小木中学校の活用は地震の復興やまちづくりに重要と考える。町の発展につながる活用策を幅広く検討する。**【教育長】**閉校した校舎は町の貴重な財産。地域の実情やニーズを踏まえて有効に活用する。

七番 東 愛子
能都中3年

【質問】町内の海水浴場に多くの観光客が訪れ、混雑している。海水浴場の整備によって利用客を分散させ、より多くの来訪者増を。海水浴場や津波被害防止に向けた整備によって、町内外で海洋保護への関心が高まるほか、能登の海のPRにつなげることができる。
【町長】海洋への関心については、「クリーンビーチいしかわinのとちょう」を実施している。今後も継続させていきたい。今年は五色ヶ浜海水浴場が奥能登で唯一の開設となり、町内外含め多くの人が訪れた。新設は更衣室やトイレの整備、監視員の配置などが必要で難しい。今ある2か所を次世代に残していきたい。

議長 澁田 美佳 柳田中3年

子ども議会に参加して、議会の仕組みや各学校の能登に対する強い気持ちを改めて知ることができました。未来をより良くするために、一人一人が町民としての意識を持ち、意見を出し合うと良いと思います。

八番 千徳 純
柳田中3年

【質問】地震で道路が損壊し、危険を感じる。自転車や徒歩で通学する機会が減った。生徒のアンケートでは柳田総合支所前の道路を危険と感じている生徒がいた。震災の支援金を活用し、代わりの道路を設置できないか。
【町長】アンケートで危険とされた道路はマンホールが突き上げられ、陥没もある。現在は段差を解消するなど応急的な復旧をしているが、今後本格的な復旧を行う。代わりの道を作る場合は土地所有者の承諾や費用、時間を要するので、危険のない道路を迂回してほしい。また、通学路の危険は学校に伝えてほしい。支援金は、道路も含め、町の復旧復興に活用していく。

九番 嶋田 美咲
松波中3年

【質問】復興支援者とのかかわりの中で、協力することの大切さ、命の大切さを学んだ。支援者に感謝の気持ちを伝えたい。生徒が能登の食材ふりかけを作っているが、このふりかけに感謝の思いを乗せたい。魅力発信・復興を支えるような取り組みを支援する事業は。支援への感謝を表すロゴも作った。町から発信できないか。
【町長】ふりかけの取り組みは、材料の調達や費用計算なども行っていて頼もしい。事業者には「能登町地域資源活用ビジネス支援事業補助金」で支援している。ロゴは生徒・学校の許可があれば発信できる。まず、ふりかけで使用し、評価を見て活用してはどうか。

十番 森岡芽久実
能都中3年

【質問】町が抱えている問題を知るためには、町民から意見を求める必要がある。政策の透明度を高めるため、LINEを活用してアンケートを行い、若い世代の意見に触れては。
町をPRするため、小中学生に動画作成を依頼したり、大屋根広場の活用アイディアを募ったりすると役場と住民の関係が深まるのでは。
【町長】町の施策を知ってもらうことは大切。広報誌やホームページに情報を凝縮している。動画作成は権利処理などが必要。まずは総合的な学習の時間で話し合ってほしい。町の復興、町づくりの主役は町民で、主役が輝ける舞台を整えるのが役場の役割。関係性を深めたい。

令和六年

二十歳のつどい

令和六年二十歳のつどいは、8月11日に能登町役場で開かれました。例年は1月上旬に開催されていますが、元日に発生した能登半島地震のため、7か月遅れの夏の開催となりました。残暑の厳しい中でしたが、二十歳の皆さんはスーツや振袖姿で式に臨みました。

四方悠雅さんと橋本楓香さんが、誓いの言葉を述べ、町で学んだことを糧とし、未来の担い手として、努力を重ねていくことを宣言しました。

▲役場里山ホールに会した二十歳のみなさん

▼交通安全宣言を行う中口乃恵さん（左）と大豊千侍さん

▼能登町太鼓蓮響は法被姿で力強い演奏を披露

能都地区

能都地区

柳田地区

令和７年１月12日㊏開催
二十歳のつどいのご案内を送付しています

１月12日㊏に開催される二十歳のつどいのご案内ハガキを９月上旬に送付しています。対象者でハガキがお手元に届いていない人は、お手数ですがお問い合わせください。

対象者

平成16年４月２日～平成17年４月１日生まれの町立中学校卒業生及び在町者

問教育委員会事務局　☎62-8537

Welcome to Noto Town！

新任 ALT であるトーマス　アレクサ　レイ　アンさん（25歳）とチェスラー　カルバン　マコマスさん（23歳）が、８月７日㊌に能登町役場を訪れ、能登町長へ挨拶をしました。

町長は２人の着任を歓迎するとともに今後の活躍を期待しました。アレクサさんとカルバンさんは日本語で ALT の仕事に対する抱負や能登町の生活で楽しみなことについて笑顔で話されました。

アレクサさんはアメリカ合衆国コネチカット州出身で柳田小学校、小木小学校、柳田中学校、能都中学校を、カルバンさんはアメリカ合衆国オハイオ州出身で、宇出津小学校、鵜川小学校、松波小学校、小木中学校、松波中学校で英語の授業を担当していただきます。

※能登町では、小中学生の英語力・英会話の上達を主な目的として外国語指導助手（ALT：Assistant Language Teacher）を招へいしています。

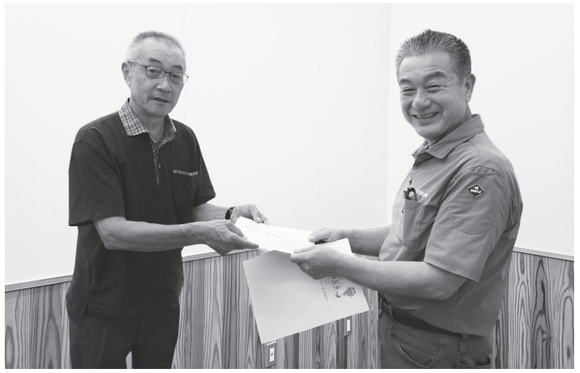
能登に到着したアレクサさん

趣味は運転、カルバンさん

ニュース

町会区長会連合会柳田支部 ござれ祭り協力金贈呈

能登町町会区長会連合会柳田支部で例年行っている、ござれ祭り協力金の贈呈を今年も行う事を四役会議にて決定。地震からの地域復興の願いと共に８月９日㊎ござれ祭り協力金として３４地区分、合計３４万円を支部長の川崎時夫さんよりござれ祭り実行委員長の谷坊美明さんへお渡ししました。



小木地区

松波地区

６市町全住民一律５万円の申請期限が12月27日まで延長されました！

申請がまだの方は急ぎ手続きをお願いします。
振込などについてのお問合せは、下記の**専用コールセンター**までお願いします。
※10月１日㊋より、コールセンターの電話番号および受付時間が変わります。

専用コールセンター　０７６-２２５-１９６３
（受付時間：10時～ 17時（月～金　※土日祝除く））

■申請方法
オンライン・郵送・窓口での申請ができます。
詳しくは石川県ホームページをご確認ください。

申請用 QR コード

必要書類
- ○申請書
- ○対象となる方の身分証明書の写し
  （氏名・住所・生年月日がわかるもの）
- ○振込先口座の通帳またはキャッシュカードの写し

「６市町全住民一律５万円」が振り込まれた口座へ順次、町災害義援金（３万円/人）と被災者応援給付金（３万円/人）の合計６万円/人を振り込んでいます。

申請必要

６市町全住民一律５万円 ⇨

申　請　不　要

能登町災害義援金 １人あたり **3** 万円 ＋ **被災者応援給付金** １人あたり **3** 万円

「６市町全住民一律５万円」の申請がまだの方は、上記６万円の振込ができませんので、必ず申請をお願いいたします。
・対象者は令和６年１月1日時点で能登町に住民基本台帳に登録されていた方です。

建築士による「住まいの再建のための無料個別訪問相談」を行います

事前申込が必要

- 被災住宅について取り壊すべきか、修繕して住み続けられるか？
- 被災住宅について、どう再建したら良いか？
- 被災住宅の修理方法や耐震化について教えてほしい。
- どうすれば費用を抑えられるか？　　など

訪問相談のイメージ

訪 問 者　石川県建築士会能登支部の建築士（２名）

訪問日時　10月21日㊊～ 10月31日㊍の期間の平日
①午前９時30分～ 11時30分
②午後１時15分～２時45分
③午後３時00分～４時30分

≪注 意≫
簡易な相談の場合は、お断りする場合があります。
先着順

申込方法　10月２日㊌～ 11日㊎の平日　午前９時～午後５時に、
能登町役場　復興推進課　（☎62–8529）へお電話ください。
「希望訪問日時・場所・連絡先・相談したい具体的な内容」をお伺いします。

石川県災害義援金第三次配分について

問総務課危機管理室☎ 62-8533

令和６年能登半島地震で被災された方に対して、多くの義援金が寄せられています。
すでに第二次配分の申請をされた方、災害弔慰金の対象者、被災者生活再建支援金の申請をされた世帯については、申請は不要です。※既に申請された口座へ振込みます。

発災時に福祉施設やアパート（町営含む）に入居されていた方も、義援金の配分対象となります。罹災証明書を申請いただき、義援金の手続きをお願いします。

※令和６年１月１日以降に亡くなられた方については、同じ世帯の方が配分を受け取ることができます。
※長期避難世帯、みなし全壊（半壊以上で解体した方）は全壊となります。すでに振込済の金額との差額を振り込みますので、被災者生活再建支援金の申請をお願いします。

■配分対象・配分金額

被害区分		第一次＋第二次配分	第三次配分	合計
人的	死　者	100 万円／人	80 万円／人	180 万円／人
	重傷者	10 万円／人	—	10 万円／人
住家	全　壊	100 万円／世帯	80 万円／世帯	180 万円／世帯
	大規模半壊	75 万円／世帯	60 万円／世帯	135 万円／世帯
	中規模半壊	50 万円／世帯	40 万円／世帯	90 万円／世帯
	半　壊	25 万円／世帯	20 万円／世帯	45 万円／世帯
	準半壊	10 万円／世帯	25 万円／世帯	35 万円／世帯
	一部損壊	3 万円／世帯	7 万円／世帯	10 万円／世帯
６市町全住民（義援金特別給付分）		5 万円／人	—	5 万円／人

必要書類
- ・り災証明書の写し
  （非住家は対象外）
- ・通帳またはキャッシュカードの写し
- ・印鑑（代理申請の場合）
  被害を受けた住家に住民登録がない方は
- ・電気等の料金明細・家屋の賃貸契約書など

‼注　意‼
「石川県災害義援金三次配分」の申請は「６市町全住民一律５万円」の申請とは別の申請になります。

■申請方法

【インターネットでの申請】
右の QR コードから申請してください。
※オンライン申請は、「住家被害」かつ「世帯主本人の申請、口座名義の場合」に限ります。該当しない場合は窓口での申請をお願いします

申請用 QR コード

【郵送での申請】
申請書に必要事項を記入し、郵送してください。
※申請書は役場窓口に備え付けてあります

あて先　**〒 927-0492**
能登町字宇出津ト字 50 番地 1
能登町役場総務課　危機管理室

【窓口での申請】
※10月から受付場所が変わります。

（９月末まで）
１階　里海ラウンジ ⇨ （10 月から）
３階　総務課窓口

次の場所で申請を受付けます。
●能登町役場　３階　総務課
平日８時30分～17時15分

●各総合支所・支所
平日８時30分～17時15分